

ベトナムのオーガニック食品

1. なぜ人気になったか

最近ベトナムに氾濫する中国産の食材のせいで、がんになる事故が多く発生しているといわれている。

そのような事情もあり、現在オーガニック食品が人気になっている。以前は野菜は、安い食品のイメージがあった。しかし今では価格が高くても、安心・安全な食品なら選択されるようになった。個人所得の増加に伴い、ベトナム人の消費傾向に変化がみられるようになってきている。昔に比べ、商品の品質や健康、食の安全への関心が高まるようになってきた。安全な食への関心が高まり、オーガニック（有機栽培）食品の消費も年々増加傾向にある。

2. 需要

ベトナム農民連合電子新聞はハノイとホーチミンのオーガニック食品の年間売り上げ規模は将来的には4千億ドンに達するという見通しを紹介している。成長過程にあるベトナムのオーガニック産業には、大手食品メーカーや大手小売り企業も積極的に参入している。ベトナムの有名なスーパー、コプマートは、オーガニック製品を主力事業の一つに位置付けている。

- ローカル市場で販売される野菜： 1万ドン/kg（約50円）（筆者調べ）
- オーガニック野菜（スーパーで販売）：6万ドン～/kg（約300円）

ベトナムの消費者は、生活が豊かになったことで、食の品質や安全への関心も高まり、オーガニック食品に対する需要も増している。

今後生活水準が更に向上していく中で、さらなるオーガニック食品市場の拡大が予想されるだろう。



スーパーの野菜売り場
（上段がオーガニック野菜、下段が通常の野菜）